

私たちは平安な思いを持って生活したいと願っています。

どうすれば良いのでしょうか。

聖書からいくつかのヒントを得たいと思います。

知恵を求める

人間が人間として歩む上で大切なことは何でしょうか。
知恵と知識を求めることです。
聖書はそのことを次のように述べています。



「しかし、私の言うことを聞く人は安心して暮らし、災いを恐れて動揺することはない」。

(格言 1:33)

学ぶことによって人として成長できる

「知恵を得る人、
識別力を身に付ける人は幸せだ。
知恵を得ることは銀を得ることに勝り、
それを手にするのは金を手にするよりも価値がある。
それはサングよりも貴重で、
あなたが望むどんなものもこれにはかなわない。
長寿が右の手にあり、
富と栄誉が左の手にある。
知恵の道は心地よく、
その通り道はどこも平穩である。
知恵はそれをつかむ人たちにとって命の木であり、
しっかりとつかんでいる人たちは幸せな人と呼ばれる。」

(格言 3:13-18)

知恵や知識を求めることによって人生を成功させることができます。
そして何よりも神に関する知識は大切です。真の命へと導くからです。
そのことが次のように述べられています。

「永遠の命を得るには、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストのことを知る必要があります。」 (ヨハネ 17:3)

心を守る

私たちの心から喜び、感謝、平安が生じます。心から不安、怒り、恐れが生じます。

心を守ることが大切です。

聖書はそのことを次のように述べています。

「わが子よ、私の言葉に注意を払え。
私の言葉をよく聞くように。
それを見失ってはならない。
心にしっかりとどめよ。
それを受け入れる人たちにとって、

それは命であり、全身を健康にする。
ほかの何よりも、あなたの心を守れ。
命は心に懸かっているからである。」
(格言 4:20-23)

神に守られていると言う確信

私たちは経済的な不安、生活上の思い煩い、健康問題や家族の問題などで不安になる時があります。
自分ではどうすることも出来ないような大きな問題にぶつかる時があるかもしれません。
どうすれば良いのでしょうか。
聖書はそのような時どのようにすれば良いかヒントを与えています。

「何も心配せず、いつでも祈り、祈願を捧げ、感謝しつつ、願いを神に知っていただくようにしましょう。そうすれば、神からの平和が、キリスト・イエスを通して皆さんの心と考えを守ります。その平和は人間の理解をはるかに超えています。」 (フィリピ 4:6-7)

「それで、何を食べ何を飲むのだろうかと自分の命のことで、また何を着るのだろうかと自分の体のことで、心配するのをやめなさい。命は食物より、体は服より大切ではありませんか。
鳥をよく観察しなさい。種をまいたり、刈り取ったり、倉に集めたりはしません。それでも天の父は鳥を養っています。あなたたちはそれよりも価値があるのではありませんか。
心配したからといって、誰が自分の寿命を少しでも延ばせるのでしょうか。
また、服のことでなぜ心配しているのですか。野のユリがどのように育つかをよく考えなさい。苦勞して働いたり、糸を紡いだりはしません。29しかし、華やかな生活を送ったソロモン王でさえ、このような花の1つほどにも装ってはいませんでした。



神は鳥を養い花を美しくされる

では、神が、今日ここに生えていて明日火に投げ込まれる野の草木にこのように服を与えているなら、ましてあなたたちには服を与えてくださるのではないのでしょうか。信仰の少ない人たち。それで、心配して、『何を食べるのか』、『何を飲むのか』、『何を着るのか』などと言ってはなりません。これら全ては異国の人々が必死に求めているものです。天の父は、あなたたちがこうしたもの全てを必要としていることを知っています。

ですから、王国と神から見ても正しいことをいつも第一にしなさい。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます。それで、次の日のことを決して心配してはなりません。次の日は次の日で心配する事があります。その日の問題は、その日だけで十分です。」
(マタイ 6:25-34)

私たちは神によって守られているという確信を持つことによって、平安な思いを持って歩むことが出来ます。
その助けになるのが祈りであり感謝です。

イエスは私たちが神に守られていることを次のように述べています。

「スズメ2羽は小額の硬貨1枚で売っていませんか。それでも、その1羽でさえ、天の父が知らないうちに地面に落ちることはありません。ところが、あなたたちは髪の毛まで全て数えられています。ですから、恐れることはありません。あなたたちはたくさんのスズメより価値があるのです。」

(マタイ 10:29-31)

平安な思いをむしばむ悪い傾向を避ける必要もあります。

怒りを避ける

怒りを避け霊を制する必要があります。

「すぐかっとなる人は争いを引き起こし、
すぐに怒らない人は言い争いを鎮める。」

(格言 15:18)

怒りは問題を大きくするとともに、身体にも悪影響を与えます。
どうすれば怒りを避けることができるのでしょうか。

「洞察力があればすぐに怒ることはない。
過ちを見過ごす人は美しい。」

(格言 19:11)

「すぐに怒らない人は力の強い人に勝り、
怒りを抑える人は町を征服する人に勝る。」

(格言 16:32)

洞察力をもって相手の立場に立てば怒りを抱くことを減らせるでしょう。
怒りを抑えることの大切さを銘記しておくことも助けになります。

野心、過度な欲望を避ける

聖書は平和を脅かすものとして次の事柄をあげています。

「ねたみや闘争心のあるところには、無秩序やあらゆるいとうべきものがあるからです。」

(ヤコブ 3:16)

そのような思いを避け、謙遜さを身につけることが大切です。

不平・不満を避ける

不平・不満を避けるように聖書は薦めています。

「だれかに対して不満があっても、辛抱し、惜しみなく許しなさい。神が惜しみなく許してくださったように、あなた方もそのようにしなさい。」

(コロサイ 3:13)

不平・不満ではなく感謝を常に抱いて歩むなら、心から平安な思いを持って生活することが出来るでしょう。